

日刊アマゴルフ2026
シングルフレーヤーズゴルフ選手権東日本大会
【ファイナルクオリファイ】

開 催 日：2026年9月10日（木）

開催コース：越生ゴルフクラブ

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。
本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規則やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「一般の罰（2罰打）」となる。

ローカルルール

1. アウト・オブ・バウンズ(規則18. 2)
アウトオブバウンズは白杭または、白杭と白線のコース側の地表レベルで結んだ線によって定められる。
2. ペナルティーエリア(規則17)
コース内の池で、アウト6、7番の間、イン11、12、18番は、レッドペナルティーエリアとし赤杭をもってその限界を標示する。それ以外の池は、アウトオブバウンズである
3. 異常なコース状態(動かさない障害物を含む)(規則16)
 - (a) 修理地
青杭または、白線で囲まれた区域。
 - (b) 動かさない障害物
 - (1) 排水溝
 - (2) 複数の動かさない障害物が接している場合、それらはひとつの動かさない障害物として扱われる。
 - (3) 動かさない障害物と白線でつながれている区域は、その動かさない障害物の一部として扱われる。
4. プレー禁止区域
 - 1) 電磁誘導カート用の軌道は、全幅をもってプレー禁止区域であり、異常なコース状態として扱われる。
規則16. 1fに基づき、そのプレー禁止区域による障害からの罰なしの救済をうけなければならない。
但し、スタンスにだけ障害となる場合は、そのままプレーすることもできる
 - 2) 予備グリーンおよびそのカラーに球が止まったとき、またはスタンスがかかる場合は、プレーヤーは罰なしにその球を拾い上げ、前位置に出来るだけ近く、かつホールに近づかない箇所(ニヤレスト・ポイント)から1クラブレングス以内にドロップしなければならない。
5. 不可分な物
以下の物は不可分な物であり、無罰の救済は認められない。
 - (a) 樹木やその他の恒久的な物件に巻きついたり、密着させてあるもの。
 - (b) ペナルティーエリア内にある人工の壁や杭でできた構造物。
6. クラブと球の規格
 - (a) ストロークを行うために使うドライバーはR&Aが発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド(モデルとロフトで識別される)を持つものでなければならない。
 - (b) ストロークを行うときに使用する球はR&Aが発行する最新の適合球リストに掲載されていない。

このローカルルールの違反に対する罰: 失格

7. プレーの中断と再開(規則5. 7)

(a)即時中断(落雷等、切迫した危険がある場合)

委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならない、委員会がプレーを再開するまでは、別のストロークを行ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰:失格

即時中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失格とすることもある。

(b)通常中断(日没やコースがプレー不能)

規則5. 7b、c、dに従って処置すること。

(c)プレーの中断と再開の合図

即時中断:通常中断:プレーの再開:

上記、すべて事務局からプレーヤーに連絡する。

8. 練習

ホールとホールの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

終了したばかりのグリーンやその近くで練習ストロークを行う、または、終了したばかりのグリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってグリーン面をテストする。

10. キャディー

帯同を認めない。セルフプレーとする。

競 技 の 条 件

1. 参加資格

プレーヤーは「競技規定」で定められる参加資格を満たしていなければならない。

2. スコアカードの提出

スコアリングエリア方式を採用する(プレーヤーの両足がエリアから出た時点をもって提出されたものとみなす)。

3. 競技終了時点

競技委員が定めた、成績掲示をもって終了したものとみなす。

注 意 事 項

1. プレーヤーにエチケット違反、または非行があった場合は「行動規範」に基づいて制裁を受けることがある。また重大な非行があった場合には規則1. 2aおよび20. 2に基づいて失格とする場合がある。
2. ラウンド中、コース内でのスマートフォンおよび、携帯電話などの通信機能の使用は、緊急時以外禁止する。
3. 悪天候等により、委員会が競技途中中止を決定した場合、9ホール終了時点で競技を成立させることがある。
4. スタート時間の30分前には大会受付を済まし、10分前には必ずティーイング・グラウンド付近にて待機すること。
5. 指定練習グリーンではパットイングのみとし危険防止のためアプローチ練習は禁止する。
6. 9ホール終了後の練習は指定練習グリーンでのパットイング練習のみとし、アプローチ練習及び打ち放し練習場での練習は禁止する。またスタート前の練習場は、1箱とする。
7. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当に開けないように注意のこと。プレーの不当な遅延にはペナルティを課す場合がある。
8. ギャラリーは、コース内に立ち入る事を禁止する。
9. ティー・マークは、日刊アマ専用ティーマークをスターティングホールのみを使用し、他のホールは「コース指定ティーマーク」を使用する。
10. 乗用カートを使用します。クラブを運ぶ機器として扱い、選手が乗用してのプレーも許可いたします。スムーズな進行にご協力下さい。

11. ファイナル通過者は参加数の25%(現状、上位7人)とする。
12. 通過者にタイが生じた場合、マッチングスコアカード方式により通過者を決定する。
- * マッチングスコアカード方式は①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順にスコアを比較し順位決定
- ① 10番から18番ホールの合計スコア
 - ② 13番から18番ホールの合計スコア
 - ③ 16番から18番ホールの合計スコア
 - ④ 18番ホールのスコア
 - ⑤ 4番から9番ホールの合計スコア
 - ⑥ 7番から9番ホールの合計スコア
 - ⑦ 9番ホールのスコア

～日刊スポーツホールディングス、競技委員会～